広報
いまかね

No. 106
42,5,10発行

発行　今金町役場　　編集　企画室　　印刷　野宮印刷

町の人口
42. 4.30現在

世帯数	2,797
男	6,024
女	6,278
総人口	12,302



写真＝北檜山警察署員の街頭指導

5月

交通ルールを守ろう

春の交通安全道民総ぐるみ運動は二十二日からはじまつた『学童幼児の保護の徹底』『運転者の一時停止除行の厳守』を重点目標にかかげ三十一日まで運動が展開される。人命尊重の見地から車の運転者は、まわりの車や人に注意をはらい安全を確めること、ふみ切り、横断歩道での一時停止は必ず守ること、また歩行者もつねに車の進行に注意して左右の安全を確認することも大切である。とくに路上での子供の遊びは危険である。ことしこそ町から交通事故をなくすため町民こぞつて正しい交通ルールの実践を習慣づけよう。

青少年の健全育成と産業基盤の確立を推す



今金町長　安部義雄

昭和三十年就任以来公私ともになにかと町民各位のご声援によりまして、散在の各種事業の促進について国や道のつながりが緊密に認められました結果であり誠にご同慶に堪えないしだいであります。

このとき町民各位のご支持によりまして四たび町長就任の栄に浴し責務の重大さを痛感いたしております。

これを機会に平和郷土建設のための新らたな覚悟をいたしますとともに、さらに国営事業の高度導入に努め町勢発展に全力を傾ける所存でございます。

幸い開基七十周年の意義ある記念すべき年を迎え先人の偉業を偲び、産業基盤の確立はもとより、青少年の育成を重点として明るい平和な地域社会の建設に献身いたします。

これから諸事業の推進にあたつては、町民各位の深いご理解とご協力をお願いしたいので、こんごとも倍旧のご支援とご鞭撻をお願い申しあげ就任のあいさつといたします。

新しい町議決まる

（得票順）

田中春吉（神丘）
丸山九内（今金）
渡辺二郎（種川）
松浦武雄（今金）
村本光夫（田代）
米山健一（美利河）
伊藤綱義（今金）
林磯次郎（金原）
曽我井定一（神丘）
庫元吉雄（〃田）
三津橋勝蔵（今金）
藤村徳蔵（今金）
長谷川敬一（日進）
中山源一（鈴金）
中野俊雄（田代）
大越藤夫（田代）
今野伝（今金）
高島千三（種川）
加藤五郎（種川）
仁木盛勝（田代）

婦人防火クラブ結成

防火思想の普及図る

会長清水キン



写真＝婦人防火クラブ結成式

今金町婦人防火クラブの結成式は四月二十一日町公民館に約百人の会員が集つて行なわれました。これには道災害消防課新課長補佐支庁から川口防災係長も出席するほか、消防団員三十人も参加結成を祝いあいました。

婦人防火クラブは、おもに家庭内での火災防止と防火思想の普及を図ることを目的とするものです。また事業は、火災予防についての研究、家庭における火災の減少、火災予防についてかんたんな法制と初期消火技術の講習会座談会を開き知識の向上を図ることになつています。

結成式では、新課長補佐の講演や規約を審議したあとみんなで電気器具、プロパンガス、石油ストーブなどの危険度や正しい使い方の説明をうけました。このあと役場広場で灯油、ガソリンを使つて実際にテストを行ないました。最近石油ストーブやプロパンガスの需要が多いだけに主婦の熱の入れようも真剣でした。

ところで町内の多くの住宅は木造なので農繁期を迎え子どもの火あそびも多くなりマッチの置場などにじゅうぶん注意するようクラブの結成を機会に協力しあいましょう。また就寝前にもう一度火の元を確かめることも大切です。

役員次のとおり

会長　清水キン
副会長　内田トモ
　　今野ミヨ
会計　原ミネ

5月6月の納税

軽自動車税	5月31日限り
国民健康保険税	5月31日限り
町民税	6月30日限り

みんなで環境づくり
花とみどりと清掃運動

道民のすべてが健康で快適な生活を営むため、美しく住みよい環境づくりを重点に『郷土を美しくする運動』がくりひろげられています。

今金町でも〃花とみどりと清掃運動〃にとり組むことになりました。すでに今金町内会では、四月から清掃運動を行ない町の溝や道路はきれいになりましたこの運動は昨年から行なわれていますが、ことしは交通安全日とあわせ一日と十五日を〃町のひとはき運動〃に決め住民運動としてもりあげることになりました。

すがすがしい朝の空気を胸一ぱい吸い込み家のまわりや道路をきれいにするのも気もちのよいものです。またこれからは青葉の季節でもあります。みんなそろっての『花一ぱい運動』もいかがですか。昨年も色とりどりの花が歩道に飾られ人目をたのしませてくれました。みんなで花だんづくりをはじめましょう。

ことしは、今金町にとって意義深い開基七十周年のとしです。みんなそろってこれらの運動に参加し、美しく住みよい、そして明るく豊かな郷土を建設しましょう。なお農家のみなさんも家のまわりの花だんを整備しましょう。

ことしの強調月間は次のとおりです。

春の運動五月一日―三一日
夏の運動八月一日―三一日
秋の運動十月一日―三一日

町の相談員がきまりました

清水正義さん

昭和四十二年度の行政相談員が清水正義さん（今金町字今金電話六三二五番）に決まりました。

この委員は、法律に基づいて、行政管理庁長官が委嘱するものですが、地域住民のみなさんから、国の行政や、公社、公団などの業務についての苦情、要望などを、積極的にとりあげ、満足のいく解決が得られるように導くことを仕事としております。またその業務は、ひじょうに範囲が広く複雑です。例をあげますと次のようなものがあります(1)生活保護、児童福祉、身体障害者対策(2)各種年金や給付金、恩給、保険金（失業、労災）(3)農地問題、農業委員会の業務(4)土地改良災害復旧、道路の建設や補修、用地買収、移転補償(5)学校教育(6)役所に対しての許可、認可など(7)郵便、電報、電話のほか公庫、公団の業務これらについては気がるに申し出て下さいすべて秘密で料金は無料です

4月28日行なわれました町長、町議会議員選挙の各投票所の投票成績は下表のとおりです。

今金町選挙管理委員会

町長・町議選挙投票数調　（4月28日執行）

投票区名＼区分	当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 美利河	132	126	258	127	118	245	5	8	13	96.21	93.65	94.96
2 花石	125	140	265	110	129	239	15	11	26	88.00	92.14	90.19
3 中里	59	61	120	58	61	119	1	—	1	98.31	100.00	99.17
4 住吉	37	39	76	37	36	73	—	3	3	100.00	92.31	96.05
5 種川	315	325	640	293	290	583	22	35	57	93.02	89.23	91.09
6 光川	18	20	38	18	20	38	—	—	—	100.00	100.00	100.00
7 八束	232	255	487	224	244	468	8	11	19	96.55	95.69	96.10
8 金原	166	195	361	160	182	342	6	13	19	96.39	93.33	94.74
9 豊田	84	82	166	83	79	162	1	3	4	98.81	96.34	97.59
10 神丘	172	186	358	161	179	340	11	7	18	93.60	96.24	94.97
11 日進	42	37	79	35	31	66	7	6	13	83.33	83.78	83.54
12 公民館	865	958	1,823	813	903	1,716	52	55	107	93.99	94.26	94.13
13 役場	895	979	1,874	835	892	1,727	60	87	147	93.30	91.11	92.16
合計	3,142	3,403	6,545	2,954	3,164	6,118	188	239	427	94.02	92.98	93.43

交通事故から子どもを守ろう

昭和四十一年中の北海道の交通事故は、みなさんの努力にもかかわらず、一万五千二百二件の発生で傷者は一万五千二百二十九人史上最高の記録になりました

なかでも、あたら命をつぼみのうちになくした子どもたちの数は百三十六人でいかに子どもの事故の多いことがわかります。幸い命が助かつた子どもたちのなかには身体障害者として生涯重荷を背負う気の毒な子どもも少なくありません。

ちよつとした不注意が思わぬとき思わぬ場所で発生するものです。ですから機会あるごとに正しい交通ルールを守りましよう。

二十二日から三十一日まで春の交通安全運動がはじまりますが、町も交通安全協会、婦人会、母の会などの協力で町ぐるみの運動をおこないます。とくにことしは重点目標に『学童幼児の保護徹底』『運転者の一時停止、除行の厳守』があげています。

このため町も、期間中の前半五日間を歩行者保護に後半五日を運転者に重点をおき思想の普及を図ることになりました。近く関係者の協力により運動をもりあげることになつており、家庭と関係機関が緊密な連絡を保ち地域ぐるみの運動に協力しましよう。

お母さんたちも子どもの登下校、保育所、幼稚園の通行には注意を呼びかけるよう心がけましよう。

安い利子ですぐ借られる
母子家庭の各種資金

経済的に恵まれない境遇にある母子家庭のために、資金をお貸しする制度があります。いずれも安い利子で、長期間借りられますので、ぜひご利用ください。

①事業を始めたい方には事業開始資金（二十万円まで六年間）②事業を継続するための事業継続資金（十万円まで三年間）

③住宅の改築、修理のための住宅資金（十五万円まで六年間）

④技術を習得するための技能習得資金（三年間毎月二千五百円、十年で返済）

⑤技能を習つている間の生活資金（毎月四千五百円、十年で返済）

⑥就職の際の支度資金（一万五千円、五年間）子供も借りられます。

⑦住宅を移転する場合の転宅資金（一万二千円までの三年間）

⑧高校、大学に入つた場合の修学資金（高校生月千五百円、大学生月三千円卒業後二十年返済）

⑨子供に技術や知識を習わせるための修業資金（三年間毎月二千五百円五年返済）

⑩子供が高校、大学へ入つた場合必要な支度資金（自宅からの通学生高校生一万円大学生一万五千円、下宿などの場合高校生一万五千円大学生二万五千円卒業後二十年返済）

昭和40年国勢調査の結果まとまる

昭和四十年十月一日現在によつて行なわれました国勢調査の結果が総理府統計局から発表されました。国勢調査は、統計調査の中でもつとも大規模な調査であります。この結果は、国はもちろん道や市町村の行財政の基礎資料として欠かすことのできないものであります。

ところで今金町は三十五年の国勢調査に比べますと、人口や人口密度は減つています。その反面世帯の分散が目立つております。産業別分類による世帯数、就労人口は別表のとおりとなつています。これらを基礎に町の発展に協力しあい豊かな町づくりを一層もりあげましよう。

	40年国調	35年国調	増減(へ)
総人口	11,242人	12,439人	△1,197
男	5,444	6,217	△ 773
女	5,798	6,222	△ 424
総面積	569.88km²	569.88km²	
人口密度	197人	21,8	△ 2.1
世帯総数	2,566	2,311	255
一世帯当人口	4,4	5,4	△1.0

産業分類別世帯・人口数

産業別分類	世帯数	就労人口	世帯計に対する%
農業	891	2,676	36.0
林業狩猟	157	225	6.3
漁業水産		2	0
鉱業	21	26	0.8
建設業	206	347	8,4
製造業	152	320	6,2
卸売小売業	225	541	9,2
金融保険不動産業	18	34	0,7
運輸通信業	139	216	5.6
電気ガス水道	5	7	0,2
サービス業	396	736	16,0
公務	72	106	2,9
失業世帯	23	0	0,9
非労働力世帯	170	0	6,8
普通世帯計	2,475	5,266	100
準世帯	91	0	
計	2,566		

知っていますか　しいたけのつくり方

みなさんのお持ちになっているしいたけのほだ木はうまくできましたか。まだでてないほだ木は次のことがらが原因になっています、よく調べて見てください。

① 菌がほだ木全体にまわっているかどうかは、皮の部分を指で押して見てください。まわっているとやわらかく弾力性があります。また皮の部分を破って見ると菌糸で白くなっています。固かったり黒くなっているのはよいほだ木でありません。

② しいたけは、乾燥が一番きらいです。皮の部分がデコボコになっていても乾燥のため発芽できません。こんなときには二、三日きれいな水につけてやりましょう。水からあげたら木口を二、三回強くたたいてやり日当のよい場所にムシロをかけそならべるか積み重ねムシロはいつもぬらしておきましょう。四、五日で発芽します。これを直射日光のあたらぬ場所にヨロイ伏せか合掌に立てると採取もらくです。

また、乾燥のはげしいときは水をかけ促進を図ると大きくなります。

以上がしいたけ栽培のこつです。ところでしいたけに水をやる場合は、水道の水はさけてください。菌が死んでしまいます。春と秋二回採取できますしいたけはみんなで栽培、食膳をかざりましょう。

碑をたずねて（7）



いまの八束部落は、アイヌ語でオウチャラツペと称したのが昭和八年十月の字名改正で鈴木義宗翁の出身地名をとり八束としたものである。鈴木翁はいまの千葉県安房郡富浦町（八束）の出身で明治二十八年北海道開発を志し翌二十九年渡道各地を跋渉のあと開拓地を八束と八雲町の二カ所に決め、同年樫村清徳名義で千二百ヘクタールにおよぶ未開地の開拓許可をうけ鈴木農場を創設開拓の任に当つた。これとともに道内から二十戸、福井県から三十三戸と移住させ、西の台に利別村鈴本農場事務所を設け開墾をすすめた。しかし明治三十一年に大洪水となり以来災害の続出から小作人を高台地に移転させたが水害に耐えかねた開拓者は他村に移転したのも少なくない。翁はこれらを励ましながら明治三十九年に成功年限を十六年間延長させ開拓に力を注いだ。これが現在の美田となり農業経済安定の基盤を築きあげたもので翁の偉業が偲ばれ、碑はゆかりの西の台に設けられたのが大正五年九月である碑には〃鈴木農場記〃の一部がきざみ込れているが往年東京に引きあげ昭和二年七十八才で逝去した。いまも往時偲ぶ開拓者の碑をたずねる人も少なくない。

五月の農作業

相談さき（今金町役場内林業指導事務所壁坂技師

◎水稲

① 発芽のそろった後は、換気をはかり、直射日光によくあて、本葉二葉期半ばころから床土が乾燥しすぎないようにかん水をよく行ないます。

② 移植後うき苗をおそれて田ぼをほしている向もありますが、活着がひじょうに悪くなるから必ずうき苗ができない程度に水を入れて、地温のさがるのを防ぎましょう。

③ PCP、NIPは田植え前に使用するのがよいのですが、もし田植後に除草剤を使用するときは、健苗を植え、七日～八日ごろに散布します。

④ 田植え後まもなく発生する害虫の早期発見につとめ、発生初期に防除を行ないます。

◎飼料作物

(1) 牧草地の追肥は早目に行ないます。

(2) 飼料用根菜類の種まきはおそくても中旬ころまでに行ない、種子消毒には有機銀剤を使用します。

(3) デントコーンの種まきはできるだけ早まきをして生育期間の延長をはかり栄養価の高いサイレージをつくります。

5～7月の3カ月の予報

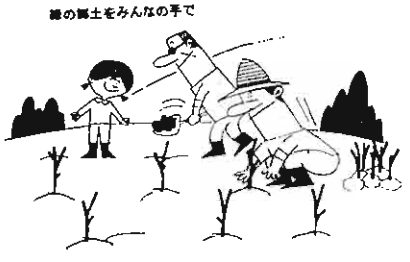
四月二十日札幌管区気象台の発表によりますと、五月中旬、六月半ばおよび七月半ばすぎは好天で順調な天候が予想されますが、その他の期間は必ずしも順調とはいえない。とくに六月上旬にぐづつきがちの天候が予測されるほか、一時的な低温、さらに七月上、中旬の間に一時はつきりした低温期があらわれるもようです。

ことしは平年に比べ一般に雪どけが早く、農作業が順調にすすんでいるのでこれを安易に考えてこんごの不安定な作物の作付、不適正な品種配分や多肥に陥る傾向があらわれないよう注意してください。

〃山火に注意　みどりの山を〃

『自然の享楽は人生に与える天恵』です。ことしも特殊気象の影響から各地で山火事が発生しています。五月はもつとも危険な時期なので、登山、魚釣り、山菜取りのため入林するかたはタバコやマッチにじゆうぶん注意しましょう。国有林の場合は必ず入林許可を受け、会社所有林、あるいは個人所有林に入林するときも了解を求めることが必要です。満一の場合に備えてのため。

さらに財産づくりの植樹も忘れてはなりません。みんなの手で緑の郷土をつくりましょう。





はたちのみなさん 年金に加入しましよう

あなたは、自分の老後や家族の生活について考えたことがありますか。これはちよつと無理かも知れません。あなたはことしはたちになつたのです。すでに選挙も終わつてほつとしたことでしようが、もう一つのこつております。これは国民年金えの加入です。若いうちは、年をとるなんて他人ごとに思うことでしようところがそうでありません一人前のおとなとして社会的にも認められたもののそのうちに働けなくなるときが必ずやつてきます。国民年金は、このようなときに備える国の年金制度で、厚生年金や共済組合など他の年金制度に加入してない場合ははたちになつたら必ず加入しなければなりません

せつかくの制度をあなたの老後や万一の事故に備え一日も早く加入しましよう

手続などの詳しいことは役場民生課国民年金係にお尋ねください。



旧金鵄勲章年金受給者に一時金を支給

旧勲章年金受給者に関する特別措置法の施行によつてこんど次に該当する方に一時金十万円が支給されます。

(1) 日清戦争から満州事変までの間に金鵄勲章を授与されたことにより昭和二十年末まで金鵄勲章年金を支給された者。

(2) 昭和二十一年から三十八年三月三十一日までの間に三年を越える懲役もしくは禁錮以上の刑に処せられたことのない者。

となつています。該当者は町長を経由して内閣総理大臣に対して一時金の請求をすることになつています。また、一時金を請求しないで死亡したときは、その相続人が自己の名で一時金を請求することもできます。手続などについてくわしいことは役場民生課にお問い合せください。

測量調査についてお願い

国営北松山改良事業計画の現況測量調査が四月十五日から行なわれています。このため次の地域で立入り調査を行ないますので事業の円滑な推進を図るためにも立入りに際しては積極的なご協力をお願いします。

調査地域＝住吉、鈴岡、神丘、八東、稲穂、田代、八鈴、鈴金、金原、春日井、豊田。調査担当職員＝函館開発建設部岩村技官ら五人

調査期間＝四十二年三月三十一日まで。

人権擁護委員決まる

今金町の人権擁護委員に次の方が委嘱されました。

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、もし、これが侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切な処置をとるとともに、つねに自由人権思想の普及高揚につとめることをその使命としています。みなさんも人権を侵犯されたときは必ず委員と相談してください。

狭間勝昭さん
田中ミサオさん



国をささえる若い力

募集期間は特にありませんいつでも応募できます。

応募できる方は十八才から二十四才までの男子で、中学校卒業程度の学力があればよいのです。くわしいことは役場総務課までおたずねください。

人物往来

一日＝道選管淡川委員、同鍵谷係長選挙視察のため。

四日＝支庁松竹谷産業課長事務打合せのため。

六日＝山田桧山支庁長事務連絡のため。

十日 小沢瀬棚町長かんぱい事業打合せのため

十九日＝函館計量検定事務所中山所長計量打合せのため。

二五日＝日本電電公社荒木総務課長視察。

二六日＝支庁菊地林務課長事務連絡のため。

三十日＝北電函館支店船山支店長視察のため

よろこび・かなしみ（三月分）

⊙出生20名作田典幸、平原洋子、山崎秀美、郷司佳代子、和田優章、遠藤光孝、野崎浩、小原孝則、笹森孝行、中野雪枝（以上今金）境田明彦、中野恵子、遠坪広美（以上八東）立野博子平尾恵（以上種川）青山千明（美利河）高島千晴（御影）獅戸幸司（鈴金）三上輝彦（金原）広沢京子（住吉）

⊙婚姻7組 緑良俊勝＝伊藤雅子、佐藤広靖＝長門光子佐藤修＝山下ケイ子、岩本幹夫＝西雪洋子（以上今金）菱田巌＝山中キン子（住吉）細川光雄＝蘭昭子（美利河）日下義四郎＝本田ひな子（花石）

⊙死亡7名 坂本正司55黒須敏雄60小原孝則0（以上今金）川崎幸弘0（神丘）吉田駒太郎61（八東）木口喜作72（中里）尾崎すみ74（田代）